

ごみ収集(プラスチック製容器包装)について

【ご意見】(令和5年10月13日受付)

収集については、毎週収集する必要は無いと思います。隔週での収集に変更を希望します。

- ・昨今は食品スーパーでの回収物が有り、立ち合い(3人制)をしても収集量は半減している。
- ・高齢者家庭には立ち合いの負担を感じている。
- ・対象物は生ごみ(可燃物)と違い、家庭内に滞留しても一向に構わないものと考えます。
- ・毎年収集カレンダーを更新するにあたり、前年と同じで、現状を勘案せず印刷して配布されているのではないか。ご一考下さい。

このたびは貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございます。お寄せいただきました内容につきまして、下記のとおりご回答申し上げます。

【回答】

日頃からごみの減量や分別、リサイクルにご協力いただきありがとうございます。

プラスチック製容器包装については、千曲市では他市に先駆けて平成12年から分別収集を実施しておりますが、現在でも収集当初とあまり変わらず毎年400~450トンの収集量がある資源ごみです。(缶・びんのように、平成15年頃と比較すると、収集量が半減している資源ごみもあります。)

プラスチック製容器包装については、収集量や収集ステーションの規模を勘案し、市全体で「毎週1回」の収集を設定しております。

しかし、収集ステーションの規模や人口によっては、排出量が少ないことや当番活動との兼ね合いから、毎週の収集ではなく「毎月2回」の収集としている事例がいくつかあります。

申出者様のお住まいの地域のステーションにおいても、地域の役員の皆様等とご相談の上、ステーション利用者皆様のご同意がありましたら、収集回数を減らすご相談に応じることは可能です。まずは地域の役員の皆様等にご相談をお願いします。

また、プラスチック製容器包装排出の際の毎週の当番活動については、様々なご意見をいただいております。市としましても、当番活動負担を減らすための資源ごみ排出について、引き続き処理先の葛尾組合とともに検討を進めてまいります。